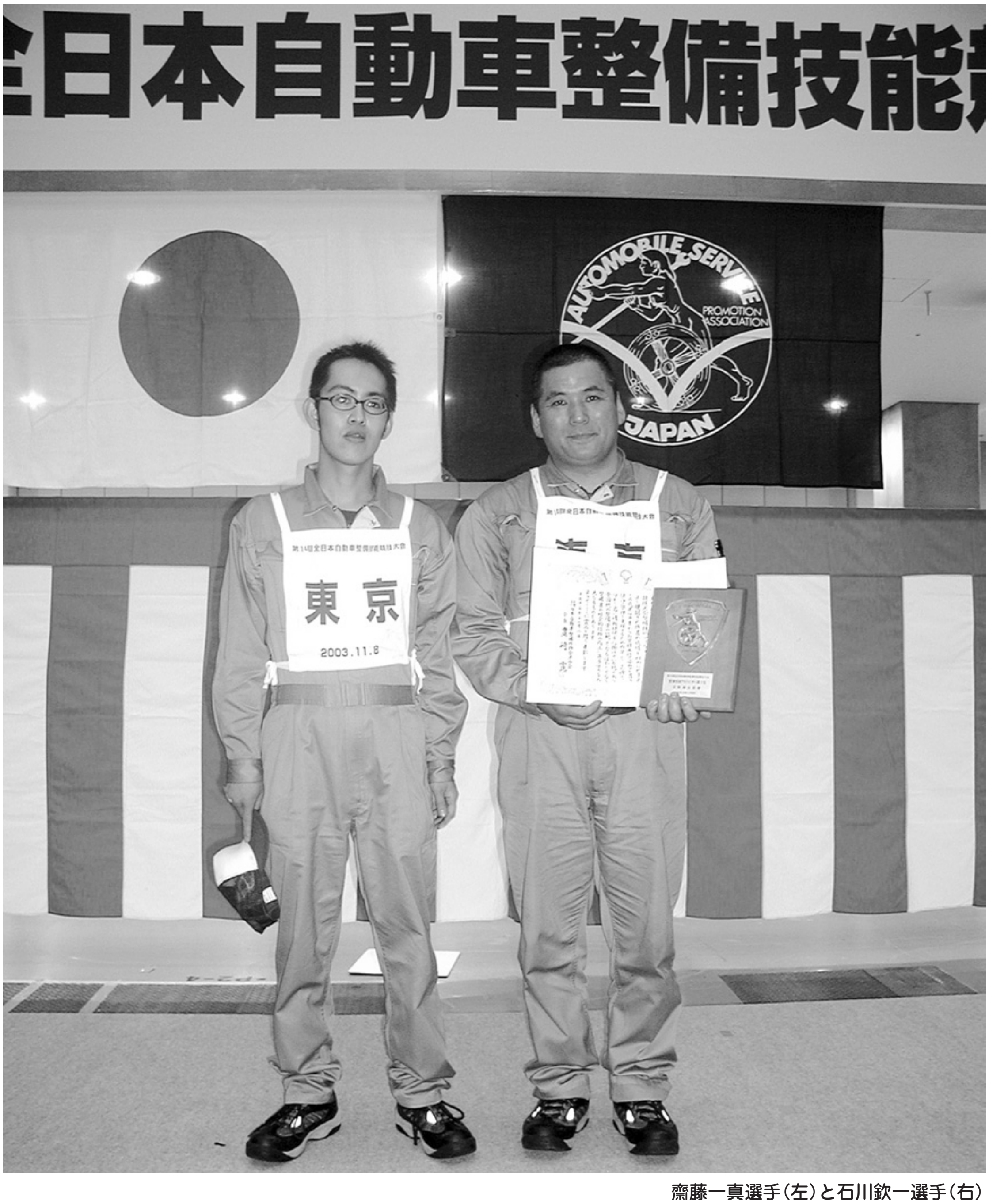
第14回全日本自動車整備技能競技大会

「整備技術アドバイザー競技」で1位！
総合実技競技5位と健闘!!

～石川 欽一・齋藤 一真 東京代表選手の挑戦～



齋藤一真選手（左）と石川欽一選手（右）

第14回全日本自動車整備技能競技大会

「おとうさんがんばって」声援を送る子の目に父の汗が煌めいている。
14回目を迎えた全日本自動車整備技能競技大会。東京代表選手たちの修練と情熱が全国選りすぐりの整備士集団と激突した。

去る11月８日㈯、東京国際展示場（東京ビッグサイト西３・４ホール）において、「第14回全日本自動車整備技能競技大会」が開催された。

午前８時30分からの開会式では、早朝にもかかわらず、多数の見学者が来場、入場行進に合わせて監督と選手が入場、坪内大会副会長による開会の辞のあと、来賓・大会役員が紹介され、前回総合優勝の京都府代表より優勝旗が返還された。

大会会長挨拶

豊﨑大会会長の挨拶

豊﨑大会会長は「近年、車社会を取り巻く環境問題への関心は高く、循環型社会の形成に向けた自動車リサイクル法の制定、世界的にも厳しい新長期排出ガス規制の制定等は整備業界にも大きな影響をもたらすことが予測される。とりわけ、新長期排出ガス規制に関連して、新たな高度故障診断システムの導入が検討される中、整備技術の概念も大きく変わろうとしている。時代はまさに、この新しい高度整備技術を顧客のためにいかに活用するかにかかっている。日々サービスを提供する整備事業場には、以前にも増してこの変化とスピードを的確に読み取り、顧客に喜ばれ、安心・サービスの提供が不可欠である。そのためにも『自動車整備業のビジョン』で提唱するオアシス事業場を実践することが必要である。この先導的な役割を担うのが、今年誕生した技術と情報提供力の両方を兼ね備えた一級整備士だ。オアシス事業に貢献できる人材育成を目的に一級整備士並びに気鋭に富んだ二級整備士による新たな“自動車整備技術者認定資格制度”を創設し、整備事業の健全な発展に努めている」と式辞を述べた。

来 賓 挨 拶

国土交通大臣の祝辞を代読した内藤整備課長

続いて、国土交通大臣の祝辞を代読した国土交通省自動車交通局自動車安全部 内藤整備課長は「自動車は国民生活や経済の維持・発展に欠かせないものとなっており、その保有台数は年々増加し7,700万台に至ってい

東京代表チーム。監督の天野英男（右）、齋藤一真選手（中央）、石川欽一選手（左）

過去最高の47チームが参加

入　場　行　進

石川欽一選手の力強い選手宣誓

る。しかし、この自動車の増加に伴い、交通事故による死傷者の増加や環境の悪化が大きな社会問題となっており、その解決のため各分野で様々な施策が展開されている。中でも自動車の適切な維持・管理を図ることは、安全確保や環境保全の基本施策となるもので、自動車整備に携わっておられる皆様の果たす役割は極めて大きなものがある。整備業界は、自動車技術の急速な進歩に対応した高度な技術や整備済み自動車の適正処理など循環型社会の構築に向けた一層の努力が必要とされている。また、ユーザーに対して点検整備の情報を提供するなど、透明性の高いサービスの実現が必要とされている」と祝辞を述べた。

競 技 開 始

引き続き、樋口競技委員長より競技概要説明が行われ、出場選手を代表して東整振代表の石川欽一選手より力強い選手宣誓があった。

前大会より、これまでの定期点検整備をベースとした「総合実技競技」に加え、新たにお客様と問題点解決の提案力を競う「整備技術アドバイザー競技」が加えられた。また、出場チームも過去最高の47チームとなったため、A・Bブロックに分け、それぞれ競技を行った。

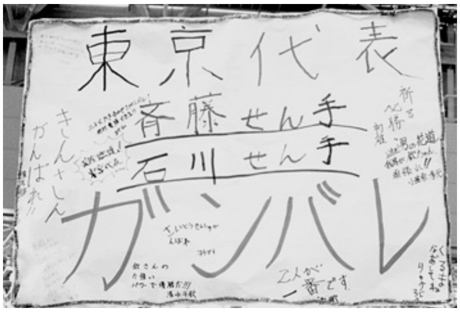
午前９時10分、Aブロック東京代表 齋藤一真、石川欽一両選手による「実技競技」が始まった。内容は２年定期点検整備の実施と、お客様への気配りを前提としたサービスについての約30箇所に及ぶ審査項目を設定。 エンジンが掛からないなどの故障箇所を、エンジン及びシャシに、それぞれ４箇所設け、診断技術を競う。また、サービス・エンジニアとして、欠かすことのできない基礎技術である外部診断器の取り扱いと、最もポピュラーな測定機器であるサーキット・テスタを使用し、車両配線に見立てた電気配線ボードなどによる測定・診断技術を審査するものだ。

実技競技開始直前、緊張した面もちの両選手

競技開始直後、作戦を練る東京代表選手

⬅⬇石川欽一選手の的確な点検整備

エンジン・シャシを各選手が分担し、無駄のない作業を行っていた。



実技競技終了、子供達と記念撮影。お父さんは頑張りました！

応援に駆けつけた会員組合員の方々、両選手の心の支えとなった

多くのギャラリーや応援団が選手の作業を見守るなか、各チームの横には選手の進行状況が判るように８個の「てんけんくんマーク」による完了ボードが用意された。選手が故障箇所をクリアすると、ボードからてんけんくんが現れ、応援団から拍手と歓声が沸き上がる。

故障箇所整備完了進行表

エンジン故障箇所		シャシ故障箇所	
1箇所 完了	(てんけんくん)	1箇所 完了	(てんけんくん)
2箇所 完了	(てんけんくん)	2箇所 完了	(てんけんくん)
3箇所 完了	(てんけんくん)	3箇所 完了	(てんけんくん)
4箇所 完了		4箇所 完了	(てんけんくん)

故障箇所を発見・整備するごとに「てんけんくん」の姿が現れる。東京チームは全8箇所のてんけんくんを見ることができた。

続いて、石川欽一選手による「整備技術アドバイザー競技」がスタートした。アドバイザー競技は、チーム代表選手１名とお客様係に扮した審査員との応酬話法で行われ、受付と問診により「お客様対応」や「問題点解決の提案力」、「整備商品知識（最新の技術、業界を取り巻く環境）」を把握できているかを競う。

「最近ハンドルが重い感じがする」というお客様の依頼から競技が開始。お客様との会話から発生状況・頻度を聞き出し、実車を点検、問題箇所を迅速に見付ける石川選手。チェック項目以外にも情報提供を行い、ユーザーの環境や保守管理責任への意識を高めるサービスを行っていた。最後にユーザーからの用命事項を確認したところで競技終了の合図。

12時40分、全ての競技が終了し、緊張した東京代表選手の表情にも笑顔が戻った。

表彰式と講評

14時45分からの表彰式では、樋口競技委員長から「整備技術アドバイザー競技」の表彰が行われ、次に「総合実技競技」の結果発表が行われた。

まず、「整備技術アドバイザー競技」の結果発表。満点を獲得した選手が二人いることを委員長が告げた。どよめく会場。福岡県の発表後、続けて「東京都、石川欽一選手」の名が会場に

齋藤一真選手のキビキビとした作業

◎第14回全日本自動車整備技能競技大会◎

アドバイザー競技にて、お客様との会話から発生状況・頻度を聞き出し、実車を点検、問題箇所を迅速に見付ける石川選手

アドバイザー競技を行う石川選手を温かく見守る東整振役員と会員組合員の皆さん

「整備技術アドバイザー競技」で1位となった石川欽一選手

響いた。会場に歓声が沸く。石川選手のお子さんは歓喜の声をあげ、奥様の目には涙が浮かんでいた。

次に「総合実技競技」の表彰。今回の大会では第３位と第５位のチームが２チームあるなど激しい接戦であったが、その中で東京チームは５位に入賞した。

全国総合賞、アドバイザー賞双方で入賞した出場県は他になく、東京チームの完成度の高さが窺えた。

続いて中島審査委員長から「大会の総合評価として３つの良い点を挙げたい。１つ、整備士同士、お互いに声を掛け合い連携をとって無駄のない作業ができていた。２つ、お客様の車を大事に扱う姿勢が感じられた。３つめは作業の安全性が確保できていた。各位が平素から気をつけて作業をしていることが窺える大会であった。今回の大会は接戦で大変レベルの高い競技が行われたと感じている。アドバイザー競技は受付・診断・問診各応対において、適切な応酬やアドバイスで故障箇所を最短距離で発見できるか、また、ご用命事項を最後に確認する。これを行うことにより確実にお客様からの信頼が得られるようになる。日頃から診断機やテスタを使って科学的に故障を分析・修復する習慣を身につけて欲しい。各チームの技術は僅差であり、この大会に参加したことに自信と誇りをもって日々研鑽していただきたい」と競技結果の講評が行われた。

與縄大会副会長の閉会の辞により、第14回全日本自動車整備技能競技大会はその幕を降ろした。

大会終了後、記者陣のインタビューに対し、石川選手は「選手宣誓で緊張のピークを越し、その後の競技へリラックスして臨めました」と言葉少な目に語った。齋藤選手は「全力を尽くせました」と話してくれた。

第14回全日本自動車整備技能競技大会結果

〔全国総合賞〕

順位	振興会名	選手	
優勝	栃木県	川島都史	島山佳樹
		川島自動車㈲	川島自動車㈲
準優勝	山口県	中野浩嗣	山田真弘
		勝野自動車㈱	勝野自動車㈱
第３位	静岡県	杉山政昭	岡崎眞人
		㈲パイオニア自動車サービス	ワイド自動車販売㈱
第３位	千葉県	乙部民雄	佐瀬真也
		乙部モータース	㈲丸備自動車整備工場
第５位	山梨県	大村和也	村上典央
		㈲宮本自動車	㈲宮本自動車
第５位	東京都	齋藤一真	石川欽一
		㈲山崎モータース	㈲石川自動車整備工場

〔アドバイザー賞〕

順位	振興会名	選手
第１位	東京都	石川欽一
		㈲石川自動車整備工場
第１位	福岡県	谷口祐一
		㈲谷口オートサービス
第３位	北見地方	長岡博昭
		長岡車輌㈱
第３位	大阪府	田内豊志
		三秀車体工業㈱

〔審査員長特別賞〕

振興会名	選手	
滋賀県	出師浩昭	渡邉悟
	㈱平田自工	㈱平田自工

（左から）コーチ・会長・監督・両選手揃っての記念撮影